

なかよし

天童中部小学校

いちよう学級だより

R4,10,27

陸上記録会への応援、ありがとうございました。

先週は、陸上長距離記録会の応援ありがとうございました。

この記録会に向けて子供たちは、いちようタイムで、秋晴れの中、気の知れた仲間、先生方とリラックスして走っているなんとも心地よさそうな表情を見せていました。

さて、陸上記録会当日になると、「最後まで走りきる」「1周はがんばる」「みんなの応援をする」など、一人一人が教室でめあてを確認していました。中には、「走れるかわからない。」と不安をもらす人もいました。いつもとは違う本番の空気があるし、その時の体調や気分があります。そのような中で、自分が決めたことを本当にやり遂げられるかどうか不安になるのもよくわかります。

Aさんは、準備運動が終わると、スタート地点へ向かい、ピストルの合図と共に走り出しました。Aさんの日頃の様子を見ていると、走ることはあまり好きではないようですが、この日はしっかりと足取りでスタートを切りました。そして、自分のペースで走り続け、自分でめあてに決めたところまで走り切って足を止めました。Aさんは、疲れ切っていたのかそこに座って少し休んでからグラウンドの中央付近へ歩いて移動し、みんなが走り終わるのを待っていました。その後、グラウンドから教室へ戻ろうとしていたAさんに会いました。私が、「おつかれさま！」と声をかけると、「お母さん、来てた。あっちの方で、見てた！」と指をさしながら教えてくれました。Aさんは満足そうでした。

Aさんの姿を見ていた同じ学年の保護者の方が、「A君、しっかり走っていましたね！」と話してくださいました。自分のお子さんとともに、同じ学年のAさんの頑張りや育ちを喜んで下さっていることを私はとてもありがたく思いながらお話を聞いていました。子供が自分で決めたことをやりきった姿を喜んでくれる人がいることで「よし、次もまたがんばるぞ！」という気持ちにつながるのではないかと思います。

どの学年の記録会でも、保護者の皆様からの温かい拍手が聞こえてきました。自分のお子さんはもちろんですが、他のお子さんのことも応援して下さる気持ちがうれしく思いました。保護者の方々の温かさを感じながら、子供たちの指導・支援にあたることのできることに感謝いたします。ありがとうございました。

